※令和４年度以降入学生用

学校番号	112

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新言語文化　（三省堂）						
副教材等	改訂版　漢字検定７～２級対応　書きたくなるアシスト常用漢字　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・さまざまな作品を読みこんでいきます。多くの語彙力を獲得し、読む能力と豊かな表現力を伸ばしましょう。
・周りの人と協働する活動が含まれます。みずから考えると共に、周りの人の意見を聞く力と相手に伝える力を身に付けましょう。
・予習、復習として本文をよく読むようにしましょう。また、日常の漢字練習も継続してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、言葉の特徴、漢字などその特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2)作品の背景や表現について深く考えるとともに、他者との関わりを通じて、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)言葉を通じて積極的に他者との関り、表現を粘り強く工夫し、思いや考えを深めることができるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、言葉の特徴、漢字などその特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、作品の背景や表現について深く考えるとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の力を養おうとするとともに、言葉を通じて積極的に他者との関わり、表現を粘り強く工夫し、思いや考えを深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古典の基本事項を知識として獲得することを通じて、古典の世界を味わう。 ［教材］『沙石集』「児の飴食ひたること」 『枕草子』「春はあけぼの」 「千年の時が与えてくれる安堵」 古典常識・動詞の活用	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に知識を獲得しようと努力しているとともに、作品の表現に着目し、内容を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	作品の主題について考える。そして、考えた内容を他者に言葉で伝える。 ［教材］『伊勢物語』「芥川」 「筒井筒」 「短歌」 変格活用動詞の活用	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 c：進んで作品の理解と創作に取り組み、自分の考え方が伝わるようあらゆる工夫をしてよりよいものにしようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
2学期	語彙や表現の手法を獲得する。また文章の表現を用い、登場人物の心情や人物像を読み取る。 ［教材『土佐日記』「門出」 『徒然草』「神無月のころ」 「家居のつきづきしく」 『羅生門』 用言の活用、助動詞	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。 c：作品を進んで理解しようと努め、自分の解釈を客観的に述べ、他者の意見を参考にしながら、よりよい解釈にしようと努めている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
3学期	訓読など新たな知識を獲得する。また、古典作品を扱う目的をとらえる。 ［教材］故事「虎の威を借る」 「朝三暮四」 十八史略「鶏口牛後」 「先従隗始」 漢詩四編（李白・杜牧・杜甫・白居易） 『「おくのほそ道」を歩く』 漢文の読み方	a：時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈すること。 c：積極的に新たな知識を獲得しようと取り組み、それらを用いて作品の解釈に取り組むとともに、現代との繋がりについて自分の考えを整理し、伝えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間